

CITY OF YOKOHAMA

令和7年度 登録団体アンケート結果

都筑区民活動センター

2026年4月



横浜市

内容

1. アンケート概要
2. アンケート結果サマリー
3. 団体の状況について
活動頻度／メンバー変動／活動場所／施設を使う理由／団体の課題
4. 区民活動センターについて
利用頻度／使わない理由／利用目的／知りたい情報／情報入手経路／経路の要望／相談依頼／
スキルアップ講座／機能の充実・改善希望
5. 情報について
外部発信情報／外部発信方法／団体内情報共有
6. 地域連携について
他団体との連携／連携した団体
7. その他 ご要望やご意見

1. アンケート概要

- アンケート期間 2025年12月20日～2026年3月19日
- 実施方法 横浜市電子申請フォームおよび窓口での用紙記入による回答受付
- アンケート対象団体数 250団体
- 設問内容
 - 1. 団体の状況に関して 5問
 - 2. 区民活動センターに関して 8問
 - 3. 情報に関して 3問
 - 4. 地域連携に関して 2問
- アンケート回答数 89 (電子申請受付 65、窓口受付 24)
- アンケート回答率 35.6%

2. アンケート結果サマリー ①

■ 団体の状況に関して

- 活動状況は「月1回以上」(54%)と「週1回以上」(33%)の両方で9割近く
- メンバー数は「ほぼ変わらない」(27%)と「変動なし」(25%)両方で5割、「増加」(30%)で「減少」(18%)
- 活動場所は「区民利用施設」(55%)がトップ、「区活」(39%)「公共施設」(30%)「屋外」(29%)と続く。施設を使う理由は「利用しやすい」(81%)と「地理的に便利」(73%)が突出
- 団体の課題は「メンバー高齢化・後継者」(54%)がトップ、「メンバー減少・募集」(36%)「団体のアピール(広報関係)」(25%)「活動場所」(24%)が上位

■ 区民活動センターに関して

- 利用頻度は「月1~2回」(36%)と「年に数回」(35%)で全体の7割、「利用していない」(17%)は2割弱
- 利用目的は「ミーティング利用」(57%)「チラシ配架」(49%)「印刷機・貸出機材の利用」(46%)が上位
⇒「他の団体との繋がりづくり」(18%)も2割程度あり、機会の設定などを考えて行きたい。
- 区活から得たい情報は「区・区民利用施設、他団体のイベント」(62%)が断トツ、次に「他団体の活動内容や活動状況」(28%)「助成金・補助金」(18%)と続く
⇒「他団体の活動状況」や「助成金・補助金」の情報提供について検討したい。

2. アンケート結果サマリー ②

■ 区民活動センターに関して

- 情報入手は「メーリングリスト」(67%)が断トツ、続く「区活Webページ」(37%)「縁ジン瓦版などのチラシ」(35%)が上位。情報経路については「いまの経路で問題ない」(92%)にほぼ集中
- 相談依頼では「ボランティアやメンバー募集」(30%)「イベントや事業の広報」(26%)「縁ジン瓦版などのチラシ」(24%)が上位、「相談を依頼したことがない」(22%)
 - ⇒ 下位にはなるが「団体運営」「他団体との繋がり」「助成金」の相談やコーディネートは今後意識したい。
- スキルアップ講座のニーズは「活動の継続」(28%)「メンバー募集」(25%)「広報(Web, SNS)」(25%)「他団体との交流」(20%)が上位
 - ⇒ 団体が抱える課題とほぼ共通。縁ジンミーティングのテーマ候補として検討したい。
- 区活機能の充実・改善の希望は「チラシ配架や縁ジン瓦版・ギャラリー等の情報発信」(36%)「ミーティングスペース、印刷機・機材の貸出」(21%)「区活WebページやLINE・FBの情報発信」(19%)「区民や他団体・施設との繋がりづくり」(19%)と続いている

2. アンケート結果サマリー ③

■ 情報に関して

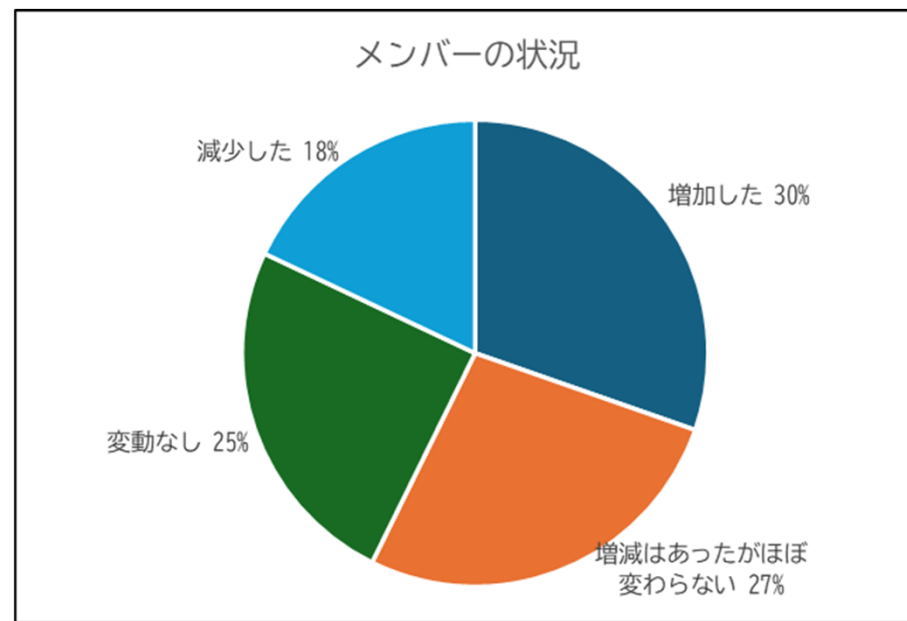
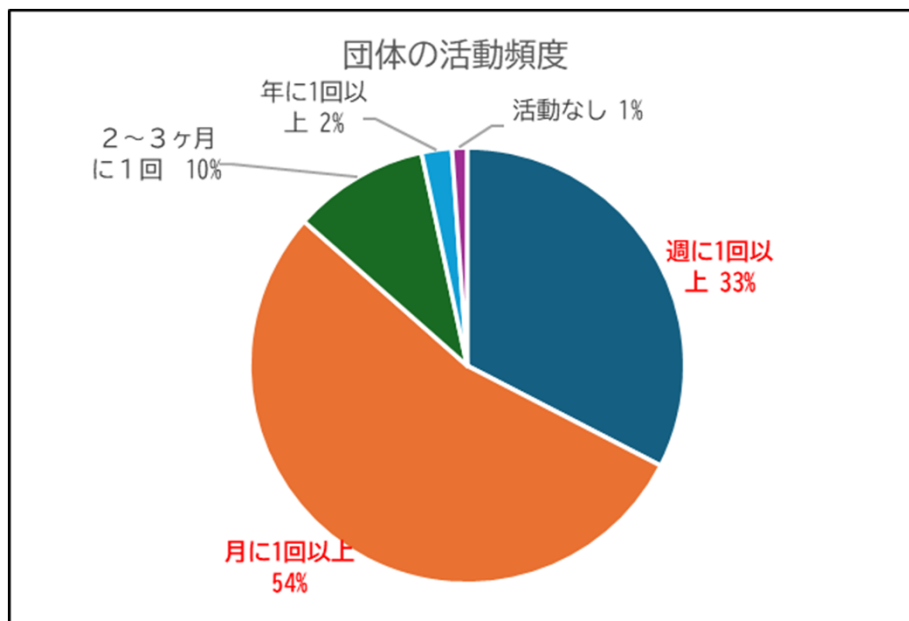
- 外部発信の情報は「団体活動内容」(63%) 「メンバー募集」(55%) 「主催イベントお知らせ」(54%) が上位
- 外部情報発信の方法は「ポスター・チラシ」(69%) 「ホームページ・ブログ」(44%) 「SNS(FB・X・LINE)」(35%) が上位、「よこむすび」は26%
⇒ チラシ等媒体のクオリティ向上、SNSの積極活用などを検討してもよいか。
- 団体内コミュニケーションは「ミーティング開催」(63%) がトップ、続く「メーリングリスト・電子メール」(52%) 「SNS(FB・X・LINE)」(45%)は団体の半数ほどで活用

■ 地域連携に関して

- 地域連携について「ときどき感じる」(49%) がトップ、「常に感じている」(17%) と合わせて6割以上の団体が地域連携について何らかの意識をもっている
⇒ 地域連携の橋渡しや機会の創出などの取り組みは考えていきたい。
- 連携した団体は「他の市民活動団体」(34%) 「行政」(27%) 「学校」(26%) 「地縁組織」(22%) と続く

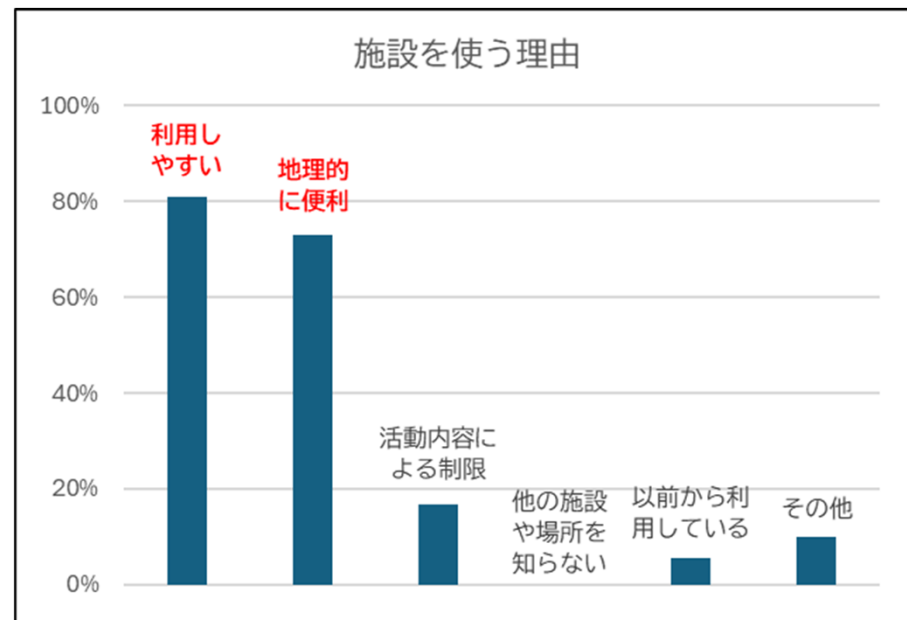
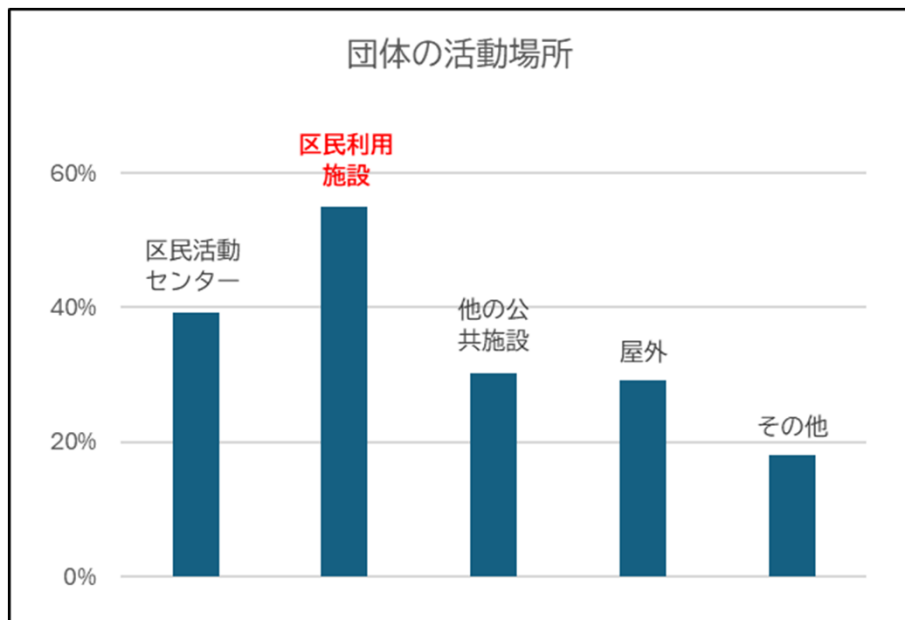
3. 団体の状況について 【活動頻度】 【メンバー変動】

- 活動頻度は「月に1回以上」が半数（54%）、次いで「週に1回以上」（33%）を合わせて9割近い
- メンバー数は、5割の団体は変わらず（「増減はあったがほぼ変わらない」（27%）, 「変動なし」（25%））、3割で「増加した」（30%）, 「減少した」（18%）団体は2割弱



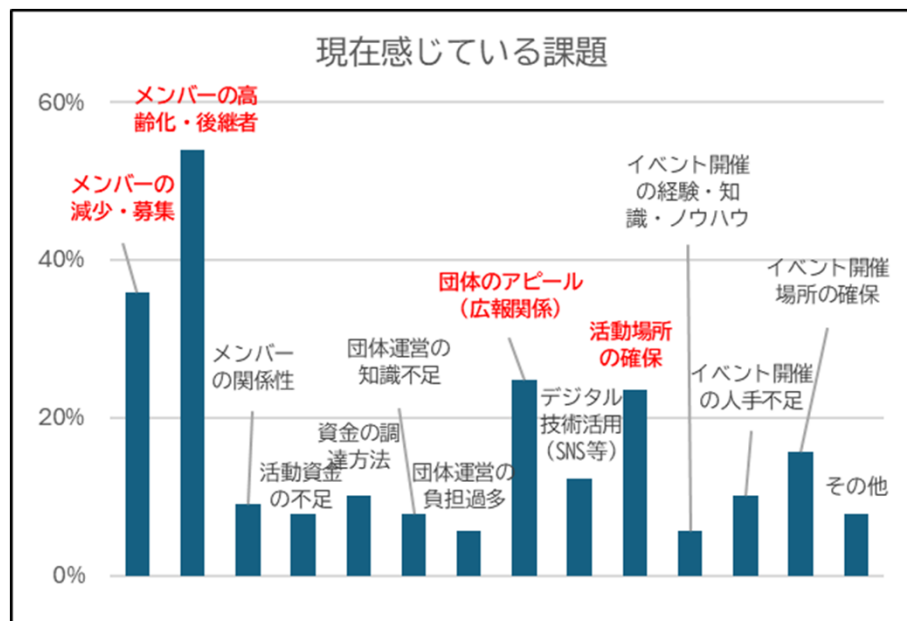
3. 団体の状況について 【活動場所】 【施設を使う理由】

- 活動場所のトップは「区民利用施設」(55%)、次いで「区活」(39%) 「公共施設」(30%) 「屋外」(29%) と続く
- 施設を利用する理由は「利用しやすい」(81%) 「地理的に便利」(73%)が圧倒的多数



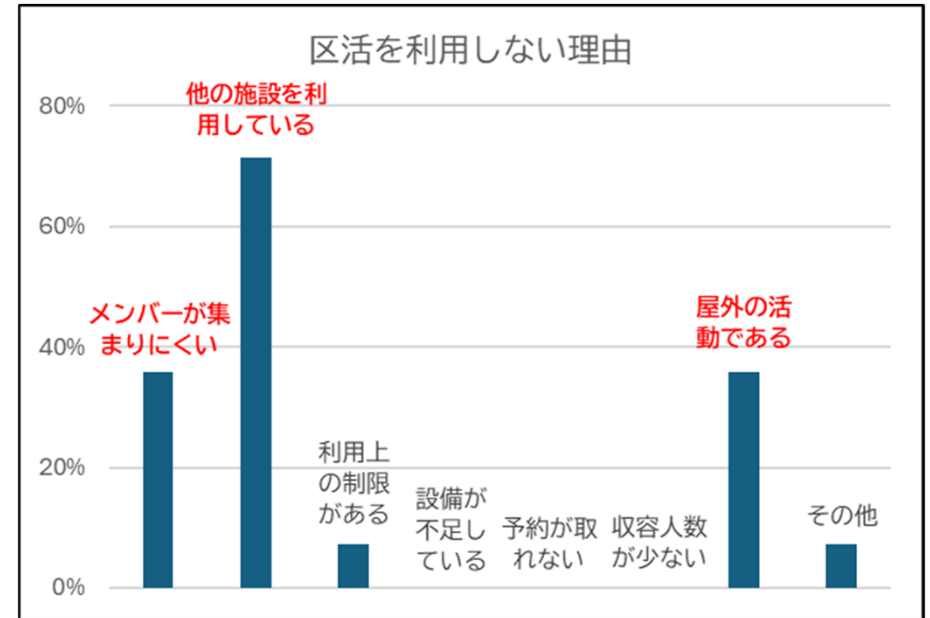
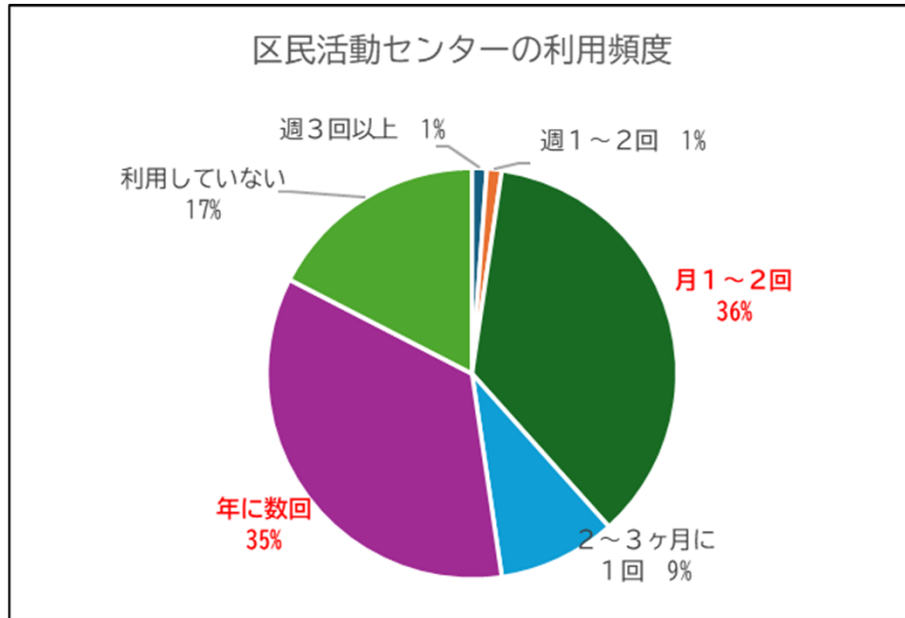
3. 団体の状況について 【団体の課題】

- 「メンバーの高齢化・後継者」(54%)がトップ、「メンバーの減少・募集」(36%)「団体のアピール(広報関係)」(25%)「活動の場所」(24%)が上位で続く
 ⇒ 検討したい課題：「団体の活動維持・拡充(後継者、メンバー募集)」 「広報(SNS活用)」



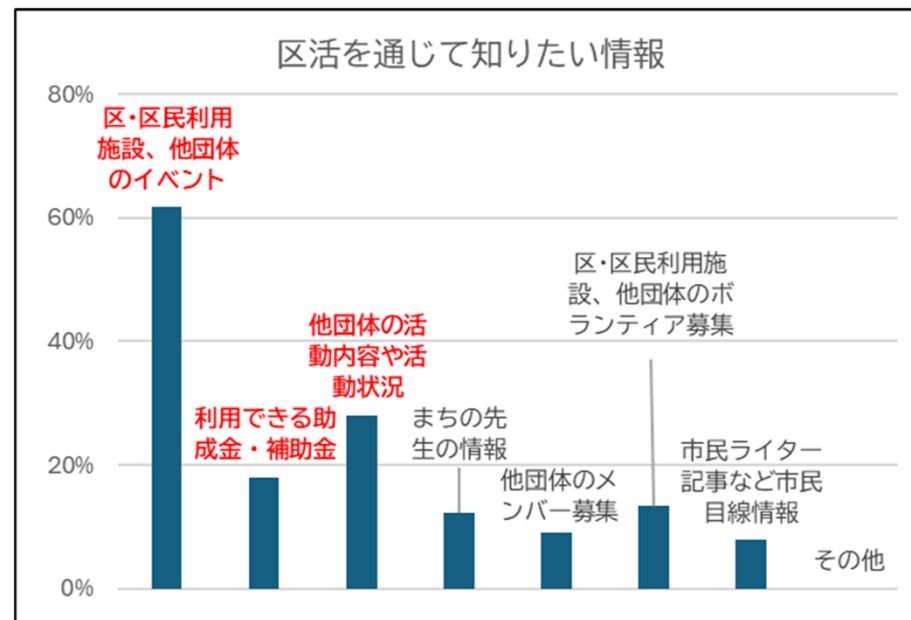
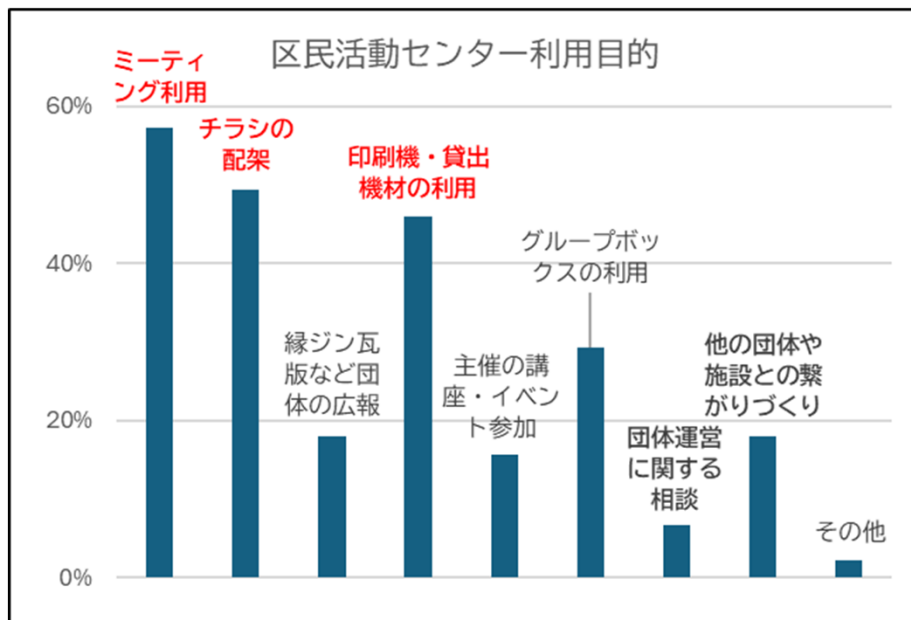
4. 区民活動センターについて 【利用頻度】 【使わない理由】

- 区活利用頻度は「月1~2回」(36%)と「年に数回」(35%)で**全体の7割**、「利用していない団体」は17%
- 利用しない理由は「他の施設を利用している」(67%)が断トツ、その他も地理的理由や活動内容(屋外など)による理由。
⇒ 他の施設を利用する理由の詳細までは聞いていないが、いまずぐ対応すべき課題は少ないと考えます。



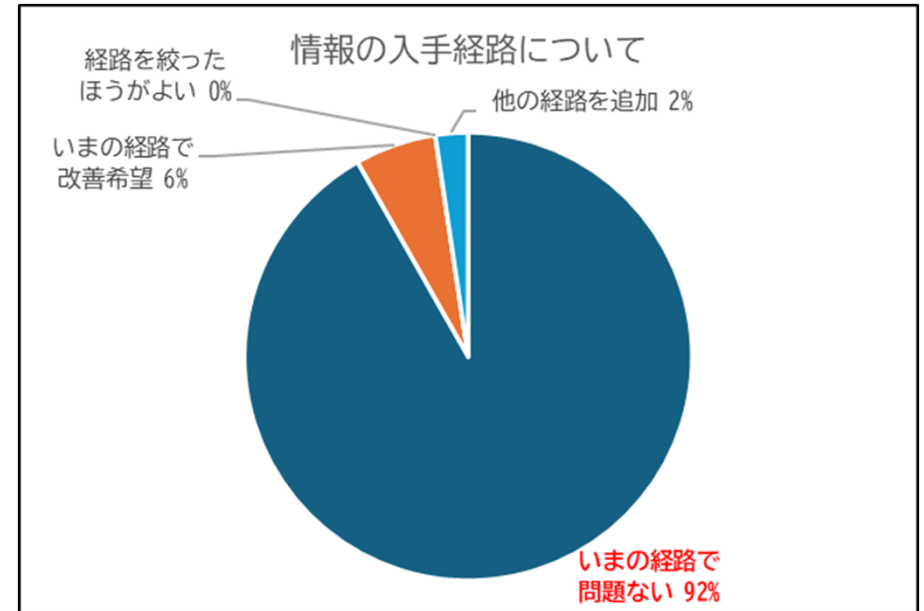
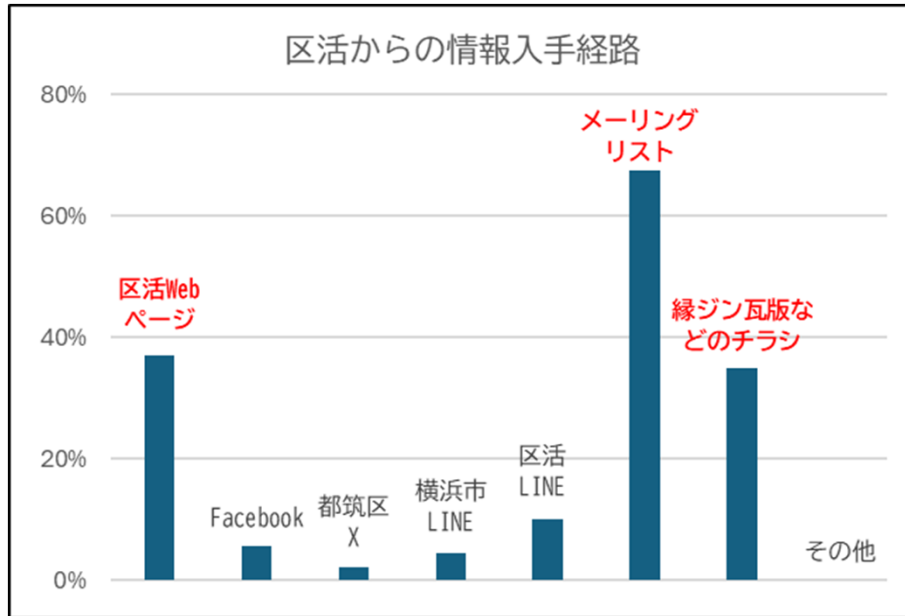
4. 区民活動センターについて 【利用目的】 【知りたい情報】

- 利用目的は「ミーティング利用」(57%) 「チラシ配架」(49%) 「印刷機・貸出機材の利用」(46%)が上位
⇒ 一方「他の団体や施設との繋がりづくり」(18%)は2割程度あり、逆に「団体運営に関する相談」(7%)は低位なので、どちらも今後の取組みを意識したいと考えます。
- 区活から得たい情報は「区・区民利用施設、他団体のイベント」(62%)が断トツ、次に「他団体の活動内容や活動状況」(28%) 「助成金・補助金」(18%)と続く
⇒ 「他団体の活動状況」や「助成金・補助金」の情報提供について検討したいと考えます。



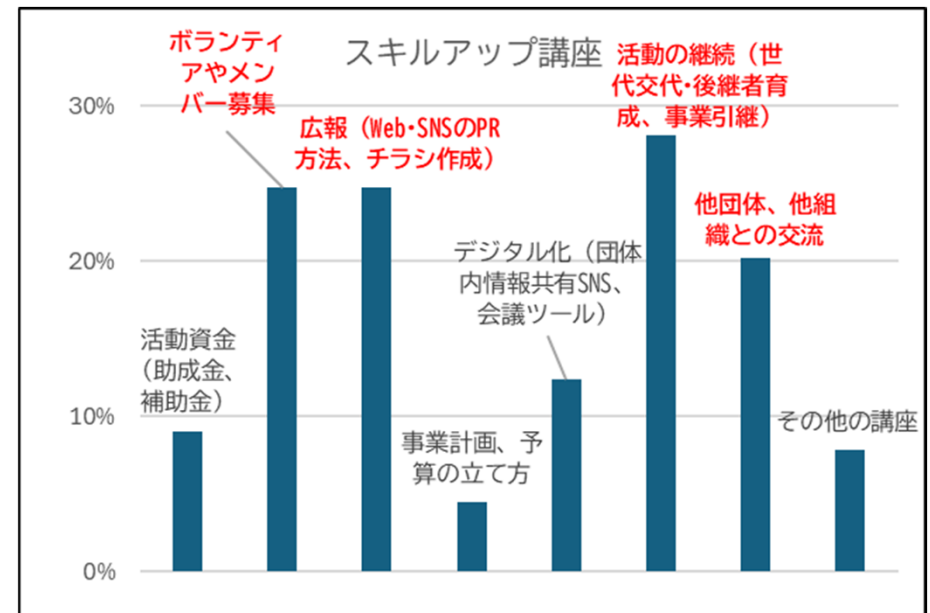
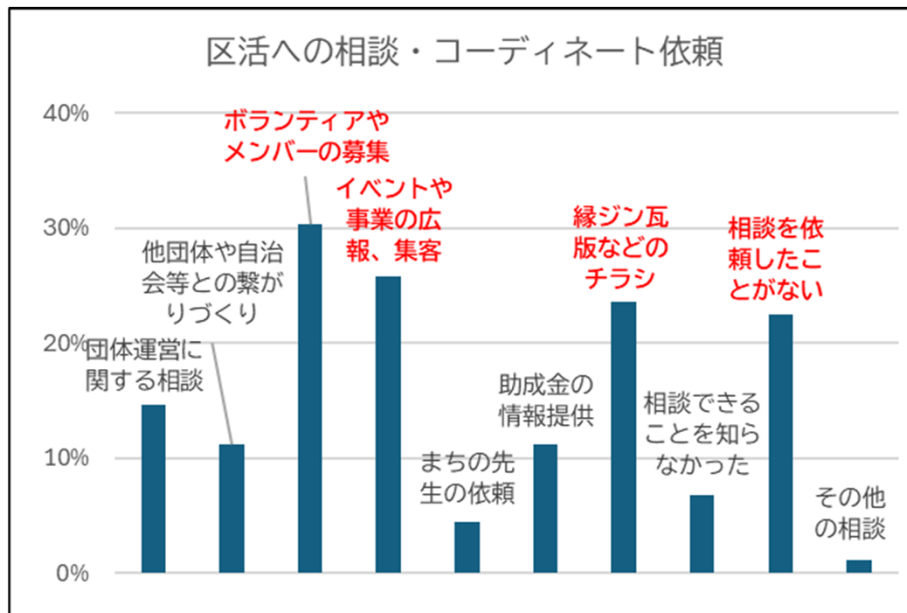
4. 区民活動センターについて 【情報入手経路】 【経路の要望】

- 区活からの情報入手は「メールリングリスト」(67%)が断トツ、続く「区活Webページ」(37%) 「縁ジン瓦版などのチラシ」(35%) が上位
- 「いまの経路で問題ない」(92%)にほぼ集中
⇒ 改善希望が5件、その内容を聞いていないので、ご意見あればお聞かせください。



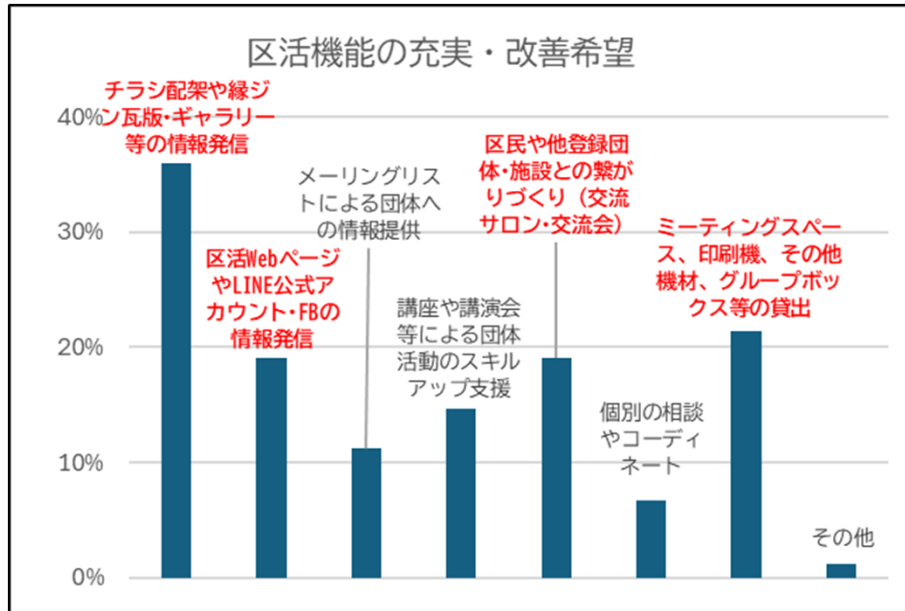
4. 区民活動センターについて 【相談依頼】 【スキルアップ講座】

- 相談依頼では「ボランティアやメンバー募集」(30%) 「イベントや事業の広報」(26%) 「縁ジン瓦版などのチラシ」(24%) が上位、「相談を依頼したことがない」も **22%**
 ⇒ 下位の「団体運営」「他団体との繋がり」「助成金」の相談やコーディネートは今後意識したい。
- スキルアップ講座のニーズは「活動の継続」(28%) 「メンバー募集」(25%) 「広報(Web, SNS)」(25%) 「他団体との交流」(20%) が上位 ⇒ 団体が抱える課題とほぼ共通。縁ジンミーティングのテーマで検討。



4. 区民活動センターについて 【機能の充実・改善希望】

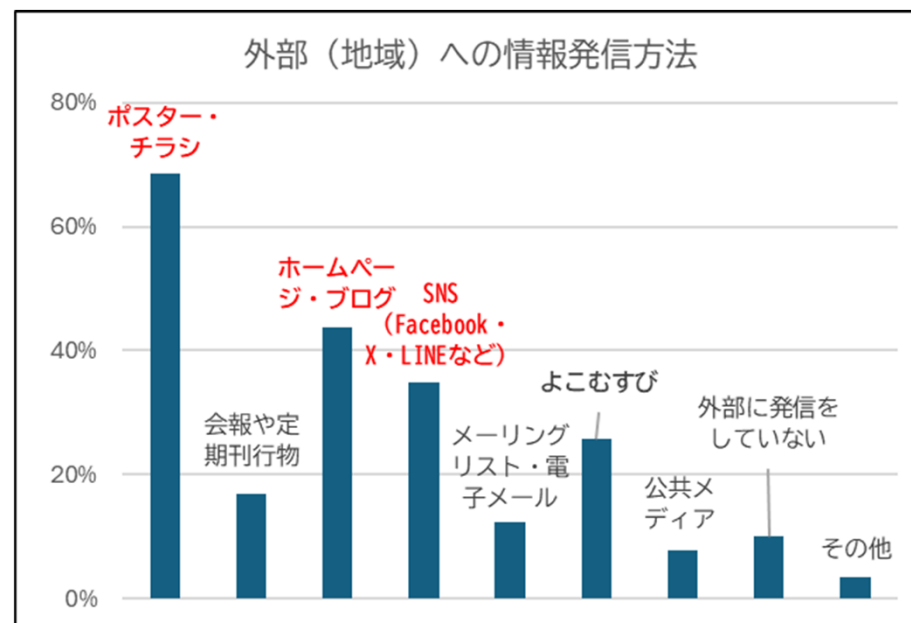
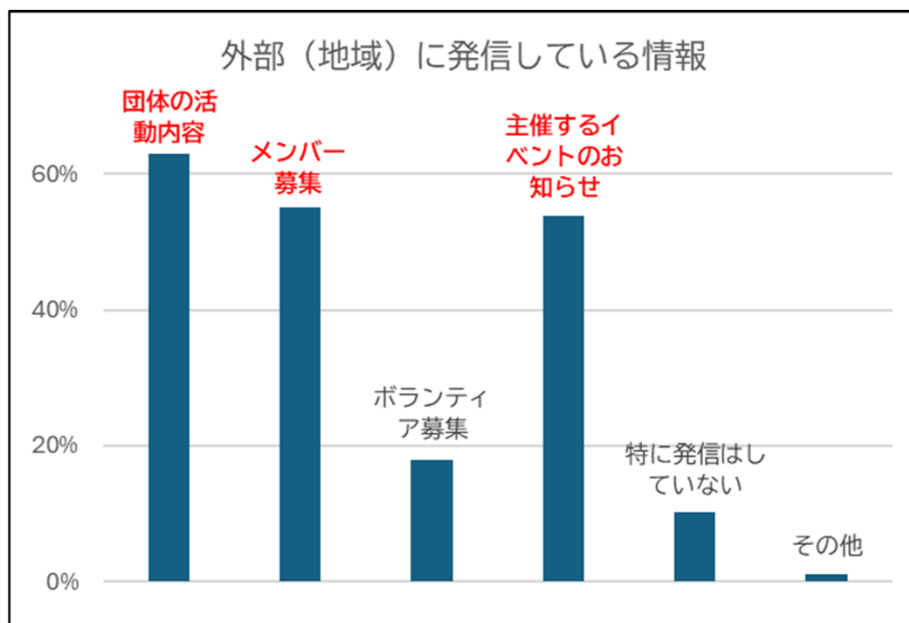
- 区活機能の充実・改善の希望は「チラシ配架や縁ジン瓦版・ギャラリー等の情報発信」(36%) 「ミーティングスペース、印刷機・機材の貸出」(21%) 「区活WebページやLINE・FBの情報発信」(19%) 「区民や他団体・施設との繋がりづくり」(19%) と続いている
 ⇒ 具体的な改善内容を知るために追加の聞き込みが必要と考えます。ご意見あればお聞かせください。



※ プリンター設置の希望意見をいただきました
 資料や議事録をPCからプリントする活用は見込めますが、インク等の消耗品管理が事実上困難なため、検討は見送りとさせていただきます。

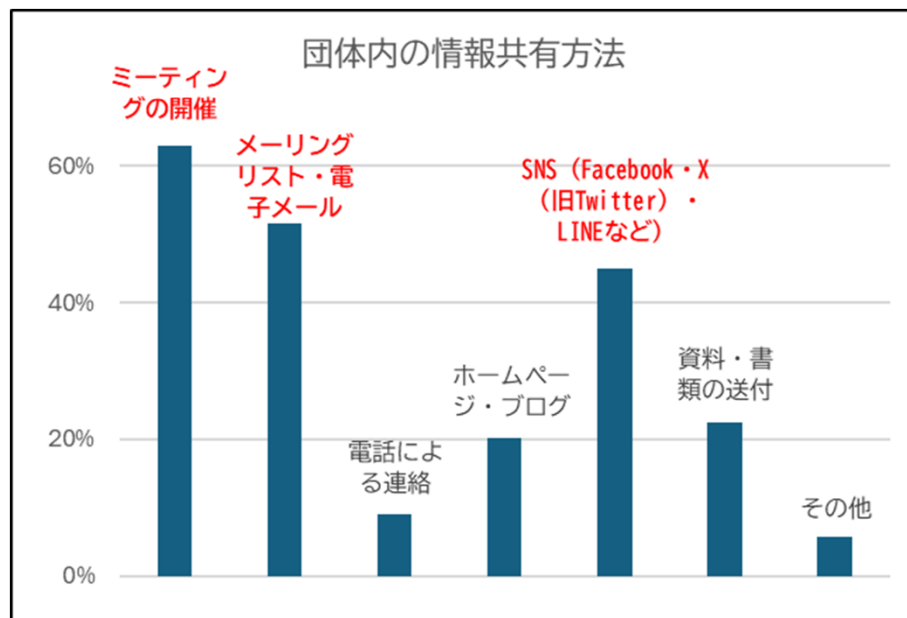
5. 情報について 【外部発信情報】 【外部発信方法】

- 外部に発信している情報は「団体の活動内容」(63%) 「メンバー募集」(55%) 「主催するイベントのお知らせ」(54%) が上位となっている
- 外部への情報発信方法では「ポスター・チラシ」(69%) 「ホームページ・ブログ」(44%) 「SNS(FB・X・LINE)」(35%)が上位、「よこむすび」は26%が活用
⇒ チラシ等媒体のクオリティ向上、SNSの積極活用などを検討してもよい。



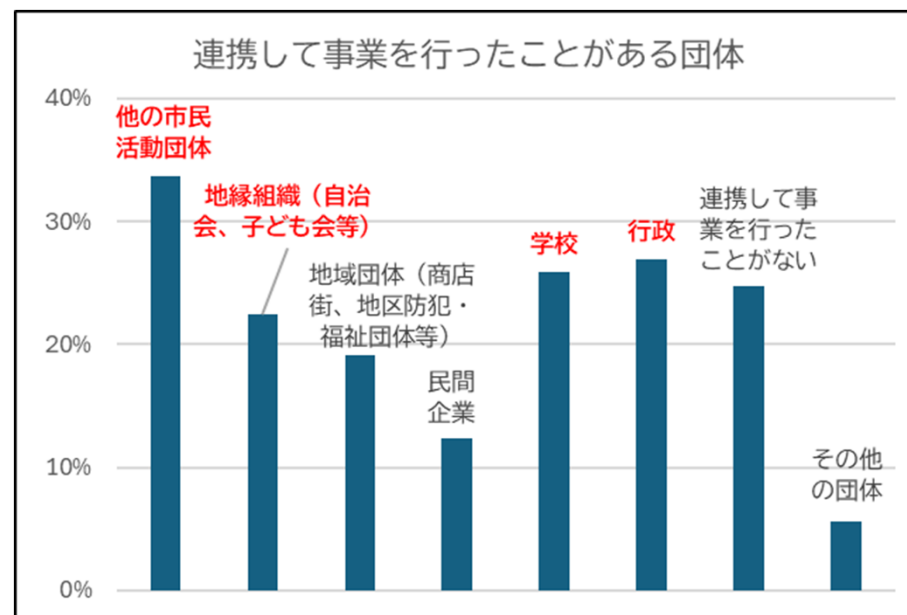
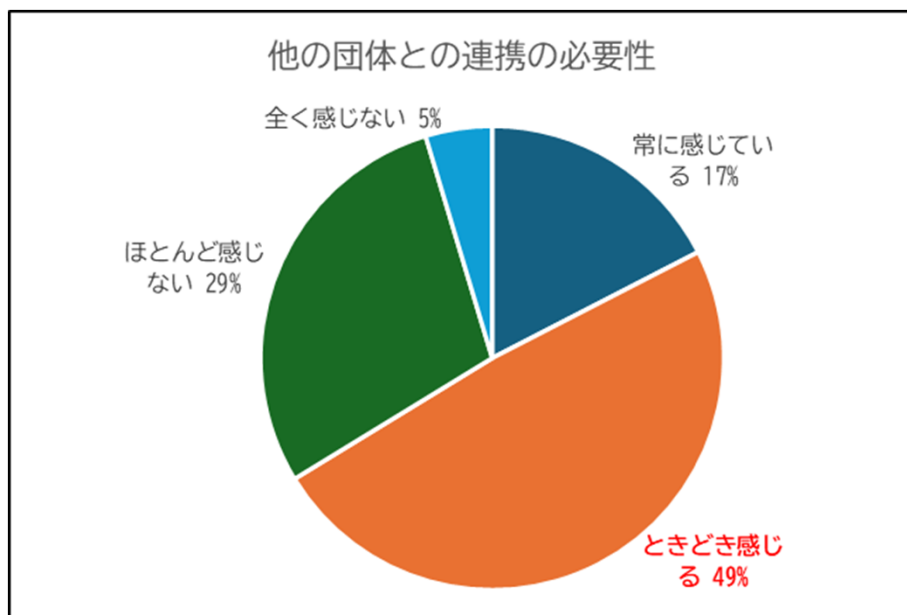
5. 情報について 【団体内情報共有】

- 団体内のコミュニケーション方法として「ミーティング開催」(63%)がトップ、次いで「メーリングリスト・電子メール」(52%)「SNS(FB・X・LINE)」(45%)が半数ほどで活用されている。
⇒ 団体の課題の回答項目には入れなかったが、団体内情報共有として情報ツールの課題があればサポートも検討したい。



6. 地域連携について 【他団体との連携】 【連携した団体】

- 地域連携について「ときどき感じる」(49%) がトップ、「常にかけている」(17%) と合わせて6割以上の団体で地域連携について何らかの意識をもっている
⇒ 地域連携の橋渡しや機会の創出などの取り組みは考えていきたい。
- 連携した団体は上位から「他の市民活動団体」(34%) 「行政」(27%) 「学校」(26%) 「地縁組織」(22%) と続く



その他 ご要望やご意見（自由記述）

- 区民活動センターを利用させていただく事は、何かの作業で年に1、2回ほど利用するだけですが、グループボックスだけは利用させていただいています。これからもグループボックスが無くならないようお願いいたします。
- 毎年ボックスを利用させていただき、ありがたいと思っています。これからも宜しくお願いいたします。
- 会議室の数が少ない。土曜日が活動日の場合、混雑している。
- よこむすび等の利用も未だで、PR出来て無いかも、です。でも地区センター様や区民活動センター様の“縁ジン瓦版”でのお知らせで、まあまあの参加人数が有ります。そのPRだけに甘んじている訳では無いのですが、メンバーそれぞれに忙しく、今の形で精いっぱいですが、しっかり活動し続けている事だけは！！広くPRしたいです。メンバーの継続や募集もコツコツと！と考えています。
- 知識や経験やコネクションレベルが低いので、レベルアップの講座等開催していただけると嬉しいです。
- 他の団体との交流機会がもう少しあればいいのでは、と思います。
- 長年、いろいろとご協力いただき、感謝しております。だんだん電子化が進む中、メールのやりとりではなく、対面での相談はとても有難いと思います。情報の発信も、今後アナログの部分も残してもらえれば助かります。急増する高齢者の介護予防活動の一環としてポールウォーキングの普及活動を行っていますが（約16年）、担い手（指導者）が高齢になり、後継が見つからないのが悩みです。
- いつも早渕川ファンクラブに誘導いただき、有り難うございます！ 今後もよろしくお願いいたします！
- いつも区活を利用させていただき、大変助かっています。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

その他 ご要望やご意見（自由記述）

- 自治会町内会連携活動は考えたことはなかった。 なにか出来ると良いですね。
- 区民活動補助金は、自治会との連携必須になったのですね。知らなかったです。
- 今までホームページを見た方が体験参加をされ、入会に至る経路しか持たなかったのが、新たな情報発信ができて嬉しく思います。 まだ、成果は出ておりませんので、結果に結びつくようできることは行っていきたいと思います。 その際、またご相談に伺わせて頂くとお思います。ご面倒をおかけいたしますが、宜しくお願いいたします。
- お世話になりました。 子供が卒部にあたり、このアンケートをもちましてメーリングリストから削除お願いします。 また必要に応じて新しい担当者が利用することになった時にはどうぞよろしくお願い致します。 ありがとうございました。
- まだ活動を始めたばかりで、補助金や助成金、区や市の仕組みについて十分に理解できていない部分もありますが、持続可能な活動団体にしていくためには、現場の実情に即した柔軟な制度運用や、相談しやすい体制があると大変ありがたいと感じております。 活動してみて初めて見えてくる課題も多いため、現場の声を反映しながら制度や仕組みを見直していただける機会があると嬉しいです。 また、活動団体の規模や状況に応じて柔軟に対応いただける余地があると、より多くの市民活動が継続しやすくなるのではないかと感じました。
- いつも区活を利用させていただき、大変助かっています。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。
- いつもありがとうございます。 今後も続けていけるようにスタッフと協力して参ります。引き続きどうぞよろしくお願い致します。
- いつもありがとうございます
- これからもよろしくお願い致します。

明日をひらく都市

OPEN × PIONEER

YOKOHAMA